第十九回
熊本城（熊本県熊本市）

「泉」　代表　木下　節子　選

熊本市賞

城中に檜の香り夏最中

大分県宇佐市　今村　ななえ

特選二句

城山の巣立ち間近な鴉の子

長野県小諸市　田中　匡子

学童の寄せ来る城に梅実る

熊本県熊本市　角田　光明

投句総数　十四句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「泉」　代表　木下　節子　選

奈良・斑鳩町賞

鹿の子の乳吸ふ力跳ぶ力

奈良県天理市　松田　吉上

特選三句

すれちがふ僧の目札朝涼し

奈良県北葛城郡　荻野　鷹生

炎天や蛇口はみんな上向きに

奈良県大和郡　菊本　章生

メモ片手子規の碑囲む遠足児

奈良県大和郡　中西　健

投句総数　八〇句

開函日　平成二十七年七月三十一日

第十九回
博物館明治村（愛知県犬山市）

「泉」　代表　木下　節子　選

子規はいく賞

漱石邸インクの匂ふ夏座敷

愛知県名古屋市　岡　都

春の風子ども幾度も汽車に乗る

愛知県名古屋市　片岡　嘉幸

緑陰の椅子に明治の風渡る

三重県伊勢市　三ツ矢　龍美

特選三句

つばめのす白いおうちにつくられた

神奈川県川崎市　醍醐　華音

文机に湯呑みが二つ蝉時雨

愛知県春日井市　野田　公雄

群れる蚊を払ひ句作の明治村

神奈川県横浜市　松田　俊夫

投句総数　二〇九句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

子規庵（東京都台東区）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選三句

風涼し子規の師系の末てゐて
愛知県岡崎市　植西　かずよ

子規庵の玻璃蠅歩く蟻歩く
千葉県東金市　大谷　八重

「らっしゃい」と下谷朝顔売れてゆく
東京都板橋区　土佐　幸子

投句総数　六七句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

記念艦「三笠」（神奈川県横須賀市）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選二句

勇気とは畏れる心夏の海

東京都調布市　宇都宮　りつ子

孫と見る三笠の勇姿夏薫る

神奈川県横浜市　早坂　五郎

投句総数　二五句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選三句

もういちどかんがえるときへいわとは
広島県広島市　小谷　美稀

特攻の遺書の達筆夏の雲
愛媛県大洲市　清水　星凛

戦争の現実知った夏始
広島県三原市　西本　隆弘

投句総数　四九句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選三句

夕焼に同行二人伊予の国
徳島県小松島市　相原　泰雄

夏目坂ゆつくり歩く梅雨晴間
静岡県静岡市　五十嵐　光郎

古本にはたきをかける薄暑かな
東京都新宿区　渋谷　実樹

投句総数　三〇句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選三句

母連れて初夏の街並天守閣
埼玉県児玉郡　浅見　真由美

さわやかな風が吹き抜く鶴ヶ城
千葉県船橋市　大谷　早和

いしがきのありがめざすは天守閣
埼玉県富士見市　髙橋　のどか

投句総数　一〇五句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

東松山市市民活動センター

（埼玉県東松山市）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選句

投句なし

投句総数　〇句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日

第十九回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「泉」　代表　木下　節子　選

特選三句

真夏日やオレンジ色の風が吹く
東京都葛飾区　石原　久

冷房の効いた団子屋去り難く
東京都江戸川区　江原　一太郎

秋の宵湯割りにするかと妻の声
福岡県古賀市　長谷川　靖

投句総数　五八句

開　函　日　平成二十七年七月三十一日